

5 / 6(ろくぶんのご)

12月15日

No. 18

藤沢市立長後中学校

決断の12月 三者面談を終えて

3年の先生方は、先週の「三者面談」の決定で、「正式に」動き出しています。みなさんの希望を基に学校として「公式な」作業、つまり高校へ提出する書類を作成したり、出願や入試の日程を確認したり、受験校を登録したりしています。ですから、基本的に「引き返す」ことはできません。特に私立高校は。

公立高校は、面談の時点で志願先が決まっていた人は「公立学校受検 文書作成依頼書(黄色)」を提出しましたが、まだ迷っている人もいましたね。最終締め切りは1月10日なので、それまでよく考えて、話し合ってください。

**本気で入学したい!と思っている高校の教育目標や特色を言うことはできるか?**

高校入試で面接試験がある人もない人も全員が挑戦した面接練習。やってみてどうでしたか?入退室の所作はできましたか?準備をしてきたことを生かすことはできましたか?自分をアピールすることはできましたか?面接をしていただいた先生から書いてもらった評価用紙をじっくり見て、できたことや、できなかったことを考え、今後に生かしてください。

面接練習後、先生方で一番話題になったことは‘高校のことを知らない’でした。志願先の高校の教育目標や方針、特色が言えないことがとても残念でした。もし、あなたが面接官なら、どちらを採用しますか?

Qなぜ、あなたは本校を志願しましたか? (この質問は、高校入試のみならず、一般企業でも通用する問ではないでしょうか?)

A: 学校説明会に参加をしたときに、先輩や先生方が親切でした。また設備も整っていて、この学校で・・・

B: 学校教育方針の△△な生徒が、私が目指す生徒像と・・・また、特色である●●が学べるのが・・・

採用する側は、どれだけ‘こっち’のことを知っているのかを知りたいわけですし、‘ここ’であなたは何かできるのか、何をしたいのかをはっきり伝えられないと、「うちじゃなくてもいいじゃん!」と思われてしまいます。だからこそ、見学会に行こう、説明会に参加しよう、高校を調べよう、と言ってきたのです。

自分の将来、自分の人生を自分の手で切り拓くためには「知る」ということは大事な能力なのです。

進路相談の結果をお伝えします

本日、みなさんが出願するすべての私立高校に進路相談を行います。その結果を18日の6時間目に担任から一人ひとりに伝えます。ですが、合格が決まったわけではありません。あくまでも「受験する権利」を得ただけです。筆記選考、書類選考関わらず、受験を終える日まで、気を抜かず生活してほしいものです。

最後に・・・先生たちが仕事をしやすい環境を

分かると思いますが、みなさんが忙しいように、先生たちも12月から2月にかけて、ものすごく忙しくなります。もちろん、みなさんのためですから、全力でやります。だから、みなさんにもぜひ協力していただきたい。簡単なことです。

絶対に問題を起こさないことです。誰かを指導する分、みんなのために仕事をする時間が削られてしまいます。先生も困るけど、みなさんが困ることになるのです。



(文責 進路担当: 清川)